

信夫淳平 しんぷ じゅんぺい 國際法學・外交史學者、法學博士。明治四年九月十日東京生れ、昭和二十七年十一月一日歿（八七一―一九六二）。漢學者信夫勉の長男。明治二十七年東京高等商業學校卒。二十年外務省に入省、大正八年退官。この間有賀長雄の師事してその學風を繼承、更に國際政治學の先驅者となる。その後早稲田大學教授、『新愛知新聞』主筆、中華民國政府顧問等を歴任。昭和十八年『戰時國際法講義』全四卷（昭和十七年刊）（以下）帝國學士院恩賜賞受賞。新聞人信夫韓一郎は長男、外交史學者信夫清二郎はその二男、清二郎の妻信夫澄子は歌人として知名。

著書は他に『小村壽太郎』（昭和十七年十一月）『新潮社』『新傳記叢書』一冊等。

